



消防団

大切な人を守りたい
 大切な地域を守りたい
 みんなの命と生活を守る

大切な命と財産を奪う恐ろしい火災、そして災害から、消防職員と協力して「まち」を守ってくださる頼もしい存在、それが「消防団」です。

市では、現在236人の消防団員がふだんはそれぞれの仕事をもちながら、いざという時に大切な人、大切なまちを守るため日々活動しています。

消防団は、火災、地震、台風などの災害が発生すると、地域に配備されている消防車を活用して消火、救助、避難誘導などの活動を行います。また、災害時だけでなく、火災予防の啓発や防災組織への訓練指導なども行い、地域防災の中で重要な役割を担っています。

東日本大震災時には多くの消防団員が、自ら被災したにも関わらず、災害直後から地域のために献身的に活動しました。今、消防団の重要性が改めて注目されています。



我がまちを守り、孫や子へと安心・安全をつなぎたい。一緒に活動しましょう!

消防団員募集!! 「自分の郷土は自分たちで守る」

主な活動内容 ◎消火活動…火災現場での消火活動や残火処理など ◎防災活動…救助活動や避難誘導、警戒巡視など ◎指導・講習…地域の防災訓練での指導・補助や、応急手当の普及活動 ※そのほか地域の祭りでの協力など
入団資格 市内在住・在勤、または市に近接する地域の居住者で、心身ともに健康で消防団活動に関心のある18歳以上の方
 ※年間一定額の報酬、災害や訓練に出勤した場合の手当、補償制度や福祉共済制度などがあります。
 ☎ 消防本部警防課 ☎7181-7701



☎ 消防本部警防課 ☎7181-7701

消防団一覧 消防団は1団本部・6方面隊・21個分団により組織されています。

第1方面隊	第1分団 (13)本町、白山、つくし野、我孫子、緑	第4方面隊	第11分団 (11)中峠、中峠台、湖北台
	第2分団 (12)米、寿、泉、並木、若松、緑		第12分団 (12)中峠
	第3分団 (13)柴崎、柴崎台、並木、我孫子、北新田		第13分団 (9)中里、湖北台
	第4分団 (4)青山、青山台、南青山、日の出、北新田		第14分団 (12)古戸、中峠
第2方面隊	第5分団 (11)下ヶ戸、東我孫子、天王台、岡発戸、都部	第5方面隊	第15分団 (12)日秀、中里
	第6分団 (11)岡発戸、都部、湖北台		第16分団 (9)新木、日秀
	第7分団 (12)高野山、天王台、我孫子		第17分団 (12)新木、新木野、南新木
第3方面隊	第8分団 (12)根戸、台田、つくし野、船戸、白山、我孫子	第6方面隊	第18分団 (6)布佐、江蔵地、新木野、新木
	第9分団 (12)久寺家、つくし野		第19分団 (12)布佐、布佐下、布佐平和台、南新木、新々田
	第10分団 (6)布施、久寺家		第20分団 (12)布佐、布佐1丁目
()…実員数		第21分団 (13)布佐、都、布佐西町	

市議会定例会開会は26日
 2月26日(水) 本会議(施政方針演説・議案説明など)(午後1時開会)
 一般質問は3月5日(水)・6日(木)・7日(金)午前10時開会予定です。詳しい日程は、広報あびこ3月1日号でお知らせします。
 ※日程・議案などの定例会資料は、行政情報資料室(市役所本庁舎1階)と市ホームページで随時公開します。
 ☎ 議会事務局・内線242

地域防災の担い手 消防団への参加を



我孫子市長 星野 順一郎

消防団は、会社員、自営業、農業者、学生、主婦など年齢や仕事もさまざまな人たちが「自分たちの地域は自分たちで守る」というボランティア精神をもって参加し、活

動している地域に根ざした組織です。しかし、最近では団員の不足などの課題を抱えています。消防団は私たちのまちを地域から支えているとても大きな存在です。仲間とともに人命や財産を災害から守っているという、消防団ならではの生きがいを感じる

ことができ、この伝統を次の世代へと繋いでいく必要があります。近年の大規模災害等を踏まえ、全国的に減少傾向にある消防団員の確保を目的とした「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が、平成25年12月13日に公布・施行されました。これらを踏まえ、市においても消防団の強化に努めます。災害に強いまちづくりのため、地域で活躍する消防団への参加をぜひお待ちしております。

消防団員インタビュー

榎本 律子さん

プロフィール

高野山小学校教諭 消防団第8分団 班長 (平成20年入団)、千葉県防災士会会員防災士、応急手当普及員



●消防団員になろうと思った理由は?

学校で防災教育を行うと、その内容が家庭で話題となり、それが家族ぐるみ、そして地域ぐるみで防災に対する意識を高める効果が期待できます。その教育をするにあたって自分に知識と経験がないと説得力がありません。子どもたちの心に響く教育を行いたいと思い、入団しました。

●入団して思ったことは?

地域の方々が消防活動にとっても理解があり、声をかけてもらえることが多くあります。消防団への期待が大きく、私たちの日々の訓練が信頼へと繋がっていくことを実感しています。また、男女、年齢関係なく、防災、減災を考え行動しなければならない時代になりました。日ごろから災害に対する正しい知識を得てそれが実践できるので、入団して良かったと思っています。

●みなさんへメッセージをお願いします

消防団は、「自分の命は自分で守る」方法を具体的に身につけられ、防災の知識を深めることもできます。それを家族に、そして地域に広げ、みんなで災害から命を守るネットワークへと繋げていければ幸いです。ぜひ、仲間になりましょう。